

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-20-3143</p> <p>【10次総の施策体系】 1401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P29（人001）</p> <p>【事業の概要】 公益財団法人鳥取市人権情報センターへの補助金。 センターの特色である市民参画型の手法を取り入れながら、さまざまな人権問題に関する取り組みを推進すると共に、人権問題の解決を図る市民運動に対する支援を行なうことにより、差別のない人権尊重都市鳥取市の実現に寄与するもの。</p> <p>【事業の成果】 1 情報の収集・提供事業 機関紙『ライツ』・『架橋』の発行、『情報ファイル』の作成 等 2 調査・研究事業 研究部会の開催(部落問題部会)、人権教育・保育部会、ヒューマンライツセミナー 等 3 啓発・相談事業 「人権の集い」の開催、教育・啓発に関する相談への対応、人権相談への対応 4 市民活動等との協働及び支援事業 人権市民活動支援事業、人権市民団体等との協働 5 関係機関・団体等との連携及びネットワーク化 団体やネットワーク組織等への加入と連携 関係機関・団体と連携したパネル展の開催</p> <p>(実績) 27年度 28,357千円 28年度 29,631千円 29年度 30,122千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も引き続き、センターと連携を図りながら、本市の人権啓発を推進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	賛助会員数	67%	65%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後とも、より効果のある業務の企画運営を行うよう協議し、市と連携して人権啓発の効率的な取り組みを行っていく。平成25年度より「世界人権宣言推進鳥取市実行委員会」の事務局を移管しているが、人権推進課が行っている業務ついて、移管可能なものを引き続き検討していく必要がある。また、自主財源確保の意味でも、賛助会員の増加に向けた有効な方策が必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009701	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校人権教育推進事業(人権教育研究)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	～	
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業研修派遣研修		210件	210件	運営方法	直営
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	人権教育推進費(人権教育研究推進事業)		予算事業コード	01-09-04-03-05-13	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	指定校による実践的な研究
意図 (どのような状態 にするために)	人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する
手段 (どうするのか)	学校における人権教育を推進する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	平成29年度 ①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	平成30年度 ①人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する指定校による実践的な研究	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①文部科学省委託事業として、2校で実践的な研究を行った。	①文部科学省委託事業として、3校で実践的な研究を行った。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,556	7,692	0	0	0	
	直接経費 A	337	373	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	337	373	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		人権教育研究指定校数	校	目標	0	2	2	2	2	
			実績	0	3	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P229（教031）</p> <p>【事業の概要】 人権教育指定校を定め、人権意識を培うための学校教育のあり方について実践的な研究を行う。</p> <p>【事業の成果】 26年度は美保小学校で実施し、1年間の研究で得られた成果は、広く各校の取組の参考となった。平成27年度は指定校はないが、28年度浜坂小学校、津ノ井小学校で実施した。29年度修立小学校、賀露小学校、津ノ井小学校で実施した。</p> <p>【事業費実績額】 平成27年度：実施なし 平成28年度：337千円 平成29年度：373千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 1年間の研究指定のため本年度限りの事業となるが、30年度以降に指定校が決まった場合は、さらなる研究の充実を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	人権教育研究指定校数		150%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>1年間の研究指定であり本年度限りの事業となるが、この1年間の研究で得られた成果を広く各校と共有し、一層の人権教育の充実を図っていく。また、平成30年度以降に指定校が決まった場合は、さらなる研究の充実を図っていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009702	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校人権教育推進事業(いじめ防止教育)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	～
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	人権教育推進費(いじめ防止教育推進事業)			予算事業コード	01-09-04-03-05-36

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小中学校、保護者
意図 (どのような状態 にするために)	いじめを許さない環境づくりのためのさまざまな手法を研修し、学級経営や人間関係づくりの実践に生かすことを目的とする。
手段 (どうするか)	①いじめ防止教育プログラムを基にしたいじめ防止研修会の開催。 ②全保護者に啓発リーフレットを配布。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施。	①いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施。	①いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施。	①いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施。	①いじめ防止研修会の開催と「鳥取市Smileプロジェクト」の実施。	
	年度別実績	①「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」「小中学生Smileサミット」等を実施した。	①「鳥取市Smileプロジェクト」として「鳥取市Smile月間」「小中学生Smileサミット」等を実施した。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,565	7,514	0	0	0	
	直接経費 A	346	195	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	346	195	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	いじめ防止教職員研修の実施回数	回	目標	0	1	1	1	1	
				実績	0	1	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P229(教032)</p> <p>【事業の概要】 学校現場で起こるいじめ問題について、学校教育関係者すべてが適切に対応できるため、いじめ防止教育の効果的な取組について検討し、資料や研修を提供することによって学校現場を支援する。</p> <p>【事業の成果】 ・いじめ防止教育プログラムをもとにしたいじめ防止研修会の実施 ・「鳥取市Smileプロジェクト」として、「鳥取市Smile月間」、「小・中学生smileサミット」等を実施</p> <p>〔事業費実績額〕 平成27年度：583千円 平成28年度：346千円 平成29年度：195千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 「いじめ防止対策推進法」の制定を受け、いじめ防止と早期対応のための継続的な事業の展開が必要であり、本事業の継続・拡充が必要であると考えている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	いじめ防止教職員研修の実施回数		100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>「いじめ防止対策推進法」の制定を受け、いじめ防止と早期対応のための継続的な事業の展開が必要であり、本事業の継続・拡充が必要だと考えている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009703	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校人権教育推進事業(携帯インターネット教育啓発)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	人権教育推進費(携帯インターネット教育啓発推進事業)			予算事業コード	01-09-04-03-05-37

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。
意図 (どのような状態にするために)	小中学校でスマートフォン、ゲーム機等の使い方やマナーを啓発教育し、適正な使用やインターネット上でのマナーを身につける。
手段 (どうするか)	ケータイインターネット教育啓発推進事業を実施する際の経費は、講師謝金補助として、各小・中学校に10,000円を配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	①教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	①教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	①教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	①教職員、保護者、児童生徒の研修を実施する際、専門家を派遣するための謝金補助を行う。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,449	7,589	0	0	0	
	直接経費 A	230	270	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	230	270	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		専門家による講演回数	回	目標	30	30	30	30	30	
				実績	23	27	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P230(教033)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>近年のスマートフォン、インターネット機能を持つゲーム機、音楽プレーヤー等の急速な普及に伴い、高い利便性を得る一方で児童生徒が長時間利用による生活習慣の乱れや不適正な利用による「ネット被害」やSNS(ソーシャルネットワークサービス)によるトラブルなど情報化に伴う新たな問題が発生している。</p> <p>また、インターネットを使いたいじめも問題となってきたり、平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」において、インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進を図ることが示され、インターネットを通じて行われるいじめを防止し、効果的に対処することができるよう啓発活動を行うことが求められている。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>市内の各小・中学校において、児童生徒及び保護者、職員を対象に情報モラルに関する専門家による授業や講演を行った。インターネット等とのつきあい方を学ぶことで情報モラル教育を推進し、児童生徒がトラブルに巻き込まれる可能性のある行為やいじめ等につながる行為を未然に防ぐ取り組みを行った。</p> <p>【事業費実績額】</p> <p>平成27年度：170千円 平成28年度：230千円 平成29年度：270千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>インターネットに関わる「ネット被害」やSNSによるトラブル、いじめなどの問題は年々増加する傾向にあり、その内容も複雑化、深刻化している。学校における情報モラル教育は大変重要になっているが、次々に出てくる情報機器や情報ツールについて教職員が十分に対応することは困難であり、課題でもある。今後も専門機関との連携を継続しつつ、教職員の専門研修なども検討していきたい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	専門家による講演回数	77%	90%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>各校でスマートフォン、ゲーム機等の使い方やマナーを啓発教育したり、適正な使用やインターネット上でのマナーを身につけたりするために、活用を啓発していくとともに、教職員対象研修の必要性もあると考えている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	009800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人権福祉センター地域福祉事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
	企業研修派遣研修		210件	210件	運営方法	直営
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域福祉事業費	予算事業コード	01-03-01-15-05-01		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生活上の課題を抱え社会的援護が必要な市民等
意図 (どのような状態 にするために)	地域における生活上の様々な課題の解決を図るため、地域の実情に応じて地域福祉事業を実施する。
手段 (どうするのか)	高齢者や障がい者等を対象に、日常生活訓練、社会適応訓練、創作・軽作業、介護技術指導、更生相談等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①日常生活訓練 ②社会適応訓練 ③創作・軽作業 ④介護技術指導 ⑤その他	①日常生活訓練 ②社会適応訓練 ③創作・軽作業 ④介護技術指導 ⑤その他	①日常生活訓練 ②社会適応訓練 ③創作・軽作業 ④介護技術指導 ⑤その他	①日常生活訓練 ②社会適応訓練 ③創作・軽作業 ④介護技術指導 ⑤その他	①日常生活訓練 ②社会適応訓練 ③創作・軽作業 ④介護技術指導 ⑤その他	
	年度別実績	①日常生活訓練 171回 ②社会適応訓練 122回 ③創作・軽作業 105回 ④介護技術指導 34回 ⑤その他 209回	①日常生活訓練 143回 ②社会適応訓練 86回 ③創作・軽作業 118回 ④介護技術指導 12回 ⑤その他 240回				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,356	18,953	0	0	0	
	直接経費 A	3,356	3,097	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,524	2,325	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	832	772	0	0	0		
人件費 B	16,000	15,856	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	各人権福祉センターにおいて実施した教室・講座等の参加数	人	目標	10100	10100	10100	10100	10100
				実績	8093	5967	0	0	0
	(指標の説明)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】 1401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P29（人002）</p> <p>【事業概要】 隣保館運営事業として各人権福祉センターにおいて、高齢者及び障がい者等を対象に隣保館デイサービス事業を行うことにより、参加者の自立を助長し生きがいを高めるとともに、地域における様々な生活上の問題に対応し、人権課題の速やかな解決を図る。</p> <p>○隣保館デイサービス事業の内容 ①日常生活訓練（体操教室など） ②社会適応訓練（手話教室など） ③創作・軽作業（陶芸教室など） ④介護技術指導（家族介護講座など） ⑤その他（野菜づくり講座など）</p> <p>【事業の成果】 生活上の課題を抱え社会的援護が必要な高齢者及び障がい者等を対象に、隣保館デイサービス事業を実施し、参加者の自立や生きがいを高める活動を図った。</p> <p>○平成29年度隣保館デイサービス事業実施回数・・・合計599回 参加人数5,967人 ①日常生活訓練・・・143回 ②社会適応訓練・・・86回 ③創作・軽作業・・・118回 ④介護技術指導・・・12回 ⑤その他・・・240回 平成27年度 3,473千円 平成28年度 3,356千円 平成29年度 3,097千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、隣保館デイサービス事業を実施し、地域における様々な生活上の課題解決に向けて対応していく。とりわけ、人権福祉センターの基幹的事业である福祉の充実・強化を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	各人権福祉センターにおいて実施した教室・講座等の参加数	80%	59%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	地域における様々な生活事情の問題解決に向けて対応することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	訪問活動等により生活上の課題を抱え社会的援護が必要な対象者の支援を行うことができたが、事業を見直し、講演会等の開催数を縮小したことで参加者数の減少に繋がった。対象者のニーズに応じて内容を検討し、参加者の増加に繋がるよう努めていく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>様々な生活課題を抱える人に対し、アウトリーチによる相談支援の活動を展開し、社会的に孤立している人の自立や社会参加を促す活動を行っている。事業計画にあたっては、各センター事業の標準化を図りながらも、地域の生活課題に応じた内容となるよう努めていきたい。</p>	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】 1401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P30（人004）</p> <p>【事業の概要】 地域で生活している住民の中で、心身の障がい・不安、社会的排除や摩擦、社会的孤立や孤独の様々な生活上の問題に対応し、人権問題の速やかな解決を図る。生活困窮者や社会的弱者世帯の児童・生徒及び保護者に対して、個々の状況に応じた学習支援、学習支援に通じての相談支援活動を行う。</p> <p>【事業の成果】 相談件数 1,360件 人権福祉センター利用者への情報提供や訪問活動等（アウトリーチ）により、生活上の課題を抱え社会的援護が必要な対象者の発見・支援とともに、適切に専門的機関につなぐなどのコーディネートを行うことができた。生活困窮者や社会的弱者世帯の児童・生徒及び保護者に対して、個々の状況に応じた学習支援、学習支援に通じての相談支援活動を実施。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>平成27年度</td><td>1,448千円</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>1,446千円</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>1,541千円</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、相談活動を実施し、地域における様々な生活上の課題解決に向けて対応していく。</p>	平成27年度	1,448千円	平成28年度	1,446千円	平成29年度	1,541千円
平成27年度	1,448千円						
平成28年度	1,446千円						
平成29年度	1,541千円						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	各人権福祉センター相談件数	80%	88%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	生活上の課題を抱え社会的援護が必要な対象者を発見し支援を行った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	関係機関に適切な施策を提供及び支援に努めることができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>人権啓発や地域活動の重要な柱として、様々な相談支援事業を継続して実施している。また、パーソナルサポートセンターと連携し、相談業務の一体的な運用を図ることで、一層の機能強化が図られている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	010000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	人権福祉センター地域交流促進事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課	

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	04	互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「人権が尊重されている」と思う市民の割合(H26年度:36.7%)		0%	50%	運営方法	直営
	企業研修派遣研修		210件	210件	会計区分	一般会計
	小地域懇談会参加者数		8,200人	9,000人		
予算	予算事業名	地域交流促進事業費		予算事業コード	01-03-01-15-06-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	創意工夫をした人権講座等を継続して開催し、地域住民相互の理解と交流を一層促進する。
手段 (どうするのか)	地域住民のニーズを的確に把握し、より効果的な地域交流が図られる講座を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①人権と福祉のまちづくり講座 ②地域交流促進講座	①人権と福祉のまちづくり講座 ②地域交流促進講座	①人権と福祉のまちづくり講座 ②地域交流促進講座	①人権と福祉のまちづくり講座 ②地域交流促進講座	①人権と福祉のまちづくり講座 ②地域交流促進講座	
	年度別実績	①人権と福祉のまちづくり講座 64回 ②地域交流促進講座 449回	①人権と福祉のまちづくり講座 120回 ②地域交流促進講座 275回				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	18,771	18,497	0	0	0	
	直接経費 A	2,771	2,641	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,081	1,982	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	690	659	0	0	0
人件費 B	16,000	15,856	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	地域交流促進講座の参加者数	人	目標	13350	13350	13350	13350	13350
		実績		10656	7231	0	0	0	
	(指標の説明)								
2	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	449	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】 1401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P30(人003)</p> <p>【事業概要】 地域の実情に即した創意工夫のある講座を継続して実施し、地域住民相互の理解と交流を一層促進し、人権啓発の拠点としての人権福祉センターの役割を果たし、人権問題の速やかな解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 人権講座等の事業参加者数 7,231人 地域住民のニーズの把握に努め、効果的な地域交流を図ることができる講座を実施することができた。</p> <p style="text-align: right;">平成27年度 3,163千円 平成28年度 2,771千円 平成29年度 2,641千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、創意工夫した講座等を実施し、地域住民相互の理解と交流の一層の推進を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	地域交流促進講座の参加者数	80%	54%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>地域住民相互の理解と交流により、人権問題の速やかな解決につながることができた。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>地域住民のニーズに努め効果的な地域交流を図ることができた。ただし、事業費の削減に伴い、開催数の減少を余儀なくされ、参加者数の減少になってしまった。目標値の変更が必要と考える。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>関係機関と連携しながら、地域課題の認識に基づいた各種の講座や地域交流の促進につながる教室などの事業を実施することで、地域住民の相互交流や相互理解の推進が図られている。</p>		